

想定した経営類型

普通期水稻

1. 技術体系の特徴

経営類型	家族労働力	品目・栽培型及び規模		経営・技術の特徴
普通期水稻	人	普通期水稻(なつほのか)	a 400	(1)土地利用型作物の複合経営 (2)作業の一部は委託
	2	合計	400	
		耕地面積 水田 8ha(自作地4ha、借入地4ha)		
経営目標	1 農業総収入	5,521 千円	4 1日当たり農業所得	28,530 円
	2 農業経営費	3,632 千円	5 1人当たり年間労働時間	265 時間
	3 農業所得	1,889 千円		

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所 割 合	取得価格	耐用 年数	年間 償却額
建物・施設	機械倉庫	1	軽量鉄骨 120㎡	1	千円 11,341	年 24	千円 473
	計				11,341		473
農機具	トラクター	1	33PS キャビン仕様	1	3,002	7	214
	ロータリー	1	作業幅160cm	1	503	7	36
	代かきハロー	1	作業幅240cm	1	488	7	35
	ブロードキャスト	1	ホップ容量200L	1	319	7	23
	育苗用播種機	1	200箱/時間	1	276	7	20
	田植機	1	5条(高密度播種・施肥)	1	1,754	7	125
	自脱型コンバイン	1	4条刈り 48PS	1	6,375	7	455
	トラック	1	2トン	1	3,756	5	376
	草刈り機	2	背負式	1	100		14
	計					16,572	

3. 技術体系

技術体系(普通期水稻 4ha)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業技術				技術の重要事項	
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		使用資材
品種の選定	①種子注文				0.00	0.00	種籾(4kg)	種子更新に努める。
種子の予措	①比重選 ②種子消毒 ③浸種 ④催芽	5中 5中 5中～下 5下		1	0.20	0.20	食塩 種子消毒剤	『県病害虫防除基準』参照種籾4kgに対し18%程度を目安に、1日1回水を取りかえる。催芽はハト胸状態までとする。
育苗	①床土準備 ②播種 ③緑化 ④硬化 ⑤灌水他 ⑥箱施薬	5下 6上 6中 5下～6中 移植前	播種機	2	1.50	3.00	育苗箱 稚苗:10	PH4.5～5.5調整の市販品を使用。昼間の高温、夜間の低温に注意し、夕方の灌水は避ける。高密度播種での試算
施肥	①土壤改良資材施用	6上	トラクター フロードキャスト	2	0.10	0.20	土壤改良資材	施肥基準参照
耕起・整地	①耕起	6上	トラクター ロータリー	1	0.50	0.50		麦収穫後できるだけ早く実施する。
	①代掻き(荒代)	6上	トラクター 代かきハロー	1	0.50	0.50		浅水にして麦わらを土中に埋込み、田面の均平を図る
	②代掻き(植代)	6中	トラクター 代かきハロー	1	0.50	0.50		
移植・施肥・除草	①田植え	6中	田植機 (側条施肥)	2	0.50	1.00		緩効性肥料を側条施肥移植同時施薬(除草剤)
病害虫防除	①農薬散布	8上			0.00	0.00	農薬	無人ヘリ・ドローンへの委託防除
	②農薬散布	8下			0.00	0.00	農薬	
	③農薬散布	9上			0.00	0.00	農薬	
管理(水・畦畔)	①間断灌水 ②中干し ③落水 ④畦草刈	7上～9下 7下～8上 9下	トラック 草刈り機	1	6.00	6.00		高温時は掛流し灌水とする目標茎数8割程度で実施。早期落水防止。
収穫	①刈取り	10上	自脱型コンバイン	1	0.67	0.67		適期刈取。生籾長時間放置禁止。稲わら全量土壤還元又は堆肥化促進。
	②運搬		トラック	1	0.67	0.67		
乾燥・調製	①共乾施設	10上			0.00	0.00		共同乾燥施設利用
計					11.14	13.24		

